

森づくりを推進

「四国山の日賞」決まる



八月二二日(金)、局において、「四国山の日賞」の選考委員会を開催しました(写真)。「四国山の日」は、平成一六年一月一四日、四国四県知事並びに四国森林管理局長が「四国の森づくりに関する共同宣言」を行い、毎年一月一日を「四国山の日」と制定し、様々な取組を連携して推進しています。この共同宣言の一環として、今年も、三部門について募集を行い、四国の森づくり等の取組を積極的に推進している次の団体等を「四国山の日賞」として決定しました。

①多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進 ・新谷公益会(愛媛県) ・東かがわ市北山森林ボランティア(香川県)

②木材の利用推進 四万十町森林組合(大正集成材工場(高知県))

③森林環境教育活動の推進 ・香美市立大栃中学校(高知県) ・愛媛木材青年協議会(愛媛県) ・もっこり倶楽部(徳島県)



なお、表彰された団体の活動については、今後、各県で開催される関連イベント等においてパネル展示等により広く紹介していくこととしています。

「四国森林・林業研究発表会」

平成27年 1月22日(木)開催

平成26年度「四国森林・林業研究発表会」を、平成27年 1月22日(木)に局大会議室で開催します。

発表部門は、

- ・森林技術
 - ・森林ふれあい
 - ・森林保全
- の3部門です。



開催通知については、高等学校、民有林事業者、四国四県、各研究機関等にも送付しています。また、署等の周りの研究発表に値する個人や団体等にもお声がけください。

(写真：昨年の発表から、高知工業高校)

発表課題は、9月26日までに、発表要旨は、12月15日までに報告をお願いします。

編集後記

8月25日、局で親子木工教室開催、夏休み宿題OK。時候の挨拶は、初秋の候に。少しずつ暑さも和らぐかな、適切な体調管理を。

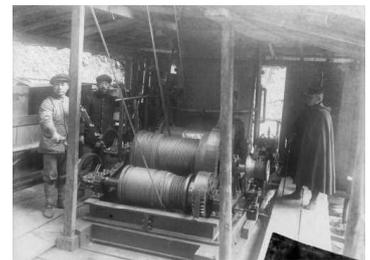


豆知識

「林業遺産」って

林業遺産として

日本森林学会が認定する「林業遺産」(10件)に四国森林管理局が保存している「大正～昭和初期の林業関係写真」(評価：導入後問もない蒸気機関車や架線集材機械(写真)など、当時の林業活動を視覚的に捉えることのできる貴重な資料)と吾川郡「いの町の森林軌道跡」が選ばれました。

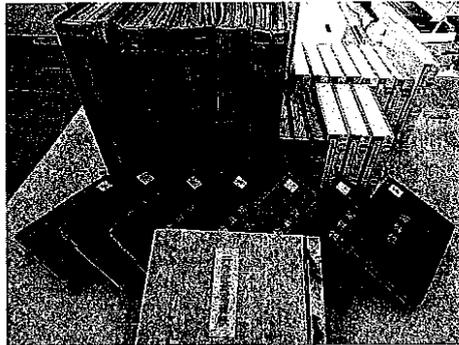


「林業遺産」は、林業発展の歴史と独自性を示す景観や道具、古文書を認定し、学術的意義を将来にわたって記憶・記録し、保存や地域振興を支援することを目的としています。

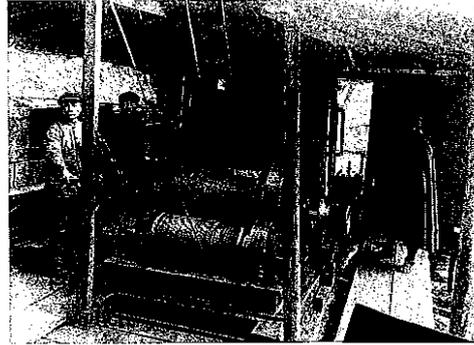
(「林業遺産」の記事は、森林技術 7月号・高知新聞7月23日付にも。なお、参考として裏面に森林技術 7月号を掲載しています)。

四国森林管理局保存の 大正～昭和初期の林業関係写真

推薦者：佐野真琴（推薦時：林野庁，現：森林総合研究所）



▲保存されている写真帳



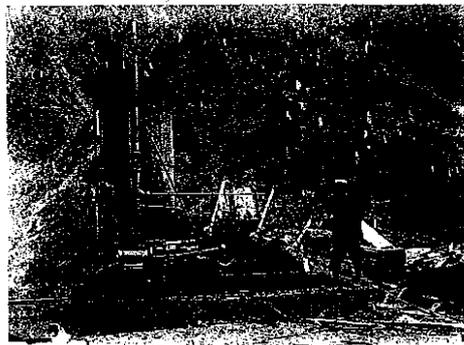
▲集材機運転状況（「事業参考写真帖」より）

四国森林管理局には、大正～昭和初期の林業関係の写真帳が保存されている。1922年（大正11年）の皇太子（後の昭和天皇）四国行啓を記念して、当時の高知大林区署が管内の事業等の写真72点を集めた「行啓記念写真帳」（製本）を編纂した。これらの写真は、「事業参考写真帖」や「写真帖造林其一図書151号」等、大正期に撮影された所蔵の写真帳合計9冊、約300枚から選出されたものと推定される。

これらにおいては、魚梁瀬森林鉄道の空の貨車を犬に曳かせて山まで戻す様子、導入間もない蒸気機関車の活躍ぶり、米国から輸入した当時日本に3台しかなかった架線集材機械、治山工事で石積みの堰堤を構築する状況、禿げ山に人海戦術で段を作り、苗を植えて緑化する状況などが撮影されており、当時の人々の林業活動を視覚的に捉えることが可能となっている。

このため、四国森林管理局では、現存する写真帳を企画調整課に集約して保管し、各写真についてはデジタル化（JPEG等）して保存している。

また、このほかにも昭和初期に撮影されたとされる写真帳も数冊保管されており、順次、デジ



▲千本山集材機（「行啓記念写真帳」より）

タル化による保存を行っていく方針である。

これらは当時の貴重な林業関係の映像写真であり、今後、整理・デジタル化に伴う対象拡大の可能性も含めて、林業遺産に相応しいと判断された。

認定対象

行啓記念写真帳他、写真帳10冊（所蔵写真422枚）。

所在

四国森林管理局
（高知県高知市丸ノ内1-3-30）